

編集方針

「日東精工統合レポート2021」は、日東精工グループが創造する価値をご理解いただくため、年間の事業活動、財務・非財務情報をまとめた冊子です。2回目の発行となる今回は、マテリアリティをESGの視点から整理し、価値創造のための取り組みや数値実績を報告しています。

本レポートは、日東精工グループからの一方的な報告書という位置づけではなく、ステークホルダーのみなさまからのご意見を頂戴し、今後の活動の参考にさせていただきコミュニケーションツールとして活用していきたいと考えています。

報告対象期間

2020年1月1日～2020年12月31日
(上記の期間以外の情報についても一部掲載しています)

報告対象範囲

日東精工株式会社および
日東精工グループ会社

発行時期

2021年5月

将来の見通しに関する注意事項

本レポートに記載されている将来の業績見通しや、計画および戦略に関する内容は、現時点での状況に基づき判断しているものであり、経済状況や為替相場の変動などにより、異なる結果となる可能性があります。

アンケート

本レポートや日東精工グループに関するご感想やご意見を
お聞かせください。



日東精工株式会社

発行部署/経営企画室 マーケティング課
お問い合わせ先/mk@nittoseiko.com
URL <https://www.nittoseiko.co.jp/>

NITTOSEIKO Integrated Report 2021

日東精工 統合レポート 2021



- 用紙:適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証用紙
- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷

人と社会と自然、 その豊かな調和を目指して。

日東精工が本社を置く京都府綾部市は、人の営みと豊かな自然が共存するまちです。

そこで生まれ育まれてきた私たちの企業活動には

「社会や自然環境との関わりの中で生かされている」という意識が根ざしています。

誠実を重んじる心、感謝する心の大切さを説いた社是の言葉が、

「SDGs」や「ESG^{*}」など現代のキーワードとも響き合い、私たちの道しるべとなるのです。

「ESG」とは、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の頭文字。

ESGが示す3つの観点が長期的に企業価値や持続可能性を高めるために必要であるとする考え方です。

社是 我らの信条

一、我らは よい自己をつくる

健康を増進し
品性を養い
知識を求め
技術をみがいて
健全な人格をつくる

二、我らは よい仕事をする

誠実を旨とし
改善を怠らず
親和協力して
よい製品をつくり
明るい職場をつくる

三、我らは よい貢献をする

我らが日々の勤めに
いそむことの出来るのも
社会の恩恵による
感謝の心を仕事に活かして
社会に貢献する

Contents

社長メッセージ02

2020年のサマリー

中期経営計画の進捗04

財務レビュー06

日東精工の価値創造

日東精工の歴史08

日東精工のネットワーク10

価値創造モデル12

事業報告

ファスナー事業(マテリアリティ01)14

産機事業(マテリアリティ01)15

制御事業(マテリアリティ01)16

メディカル事業(マテリアリティ01).....17

E 環境 / Environment

環境共生(マテリアリティ03)18

お客さまとの共有マテリアリティ(マテリアリティ01) 20

S 社会 / Social

お客さまとの共有マテリアリティ(マテリアリティ01) 22

地方創生(マテリアリティ02)23

人財育成(マテリアリティ04)24

G 企業統治 / Governance

コーポレートガバナンス26

役員一覧28

データ

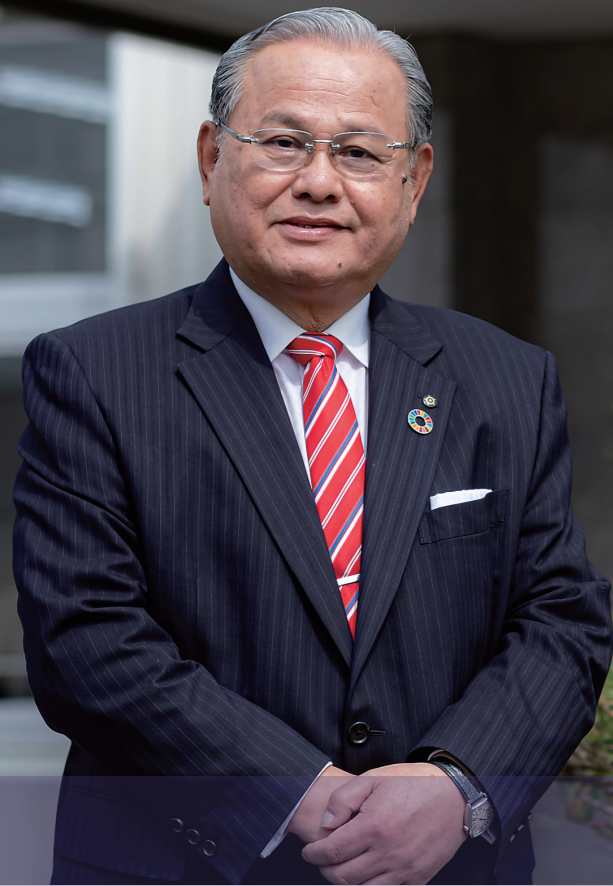
連結財務諸表30

5年間の主要財務データ32

株式情報33

会社概要 (2020年12月31日現在)

社 名 日東精工株式会社(NITTOSEIKO CO., LTD)
本社所在地 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
設立年月日 1938年2月25日
資 本 金 3,522,580,100円
従 業 員 数 連結:1,856名 単体:551名
主な事業内容 ・各種工業用ファスナーの製造販売
・各種自動組立機の製造販売
・各種流量計および検査装置の製造販売
・各種医療機器の製造販売



日東精工株式会社
代表取締役社長

村本 正己

試練を契機とし、
成長を確かなものへ。

2020年の振り返り

2020年は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により世界恐慌を超える経済の落ち込みと報道される中、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G” (2019年～2022年)」による成長戦略の取り組みを一旦中断し、日東精工グループ全社で低重心経営に切り替えました。この低重心経営やコロナ禍での企業活動は我々にとって大きな試練となりましたが、コストダウン、業務効率化、勤労形態の多様化など、前例踏襲の是非を問う徹底した取り組みを実施し、一定の利益を確保することができました。さらに、これを単なる一過性の取り組みではなく恒久的な状態として確立することで、確実に今後の収益体質の強化にもつながっていくと考えています。

このような状況ではありましたが、将来の糧となる重要な施

策は止めることなく積極的に展開してきました。特に、新たな事業の柱の一つとして立ち上げたメディカル事業については、医療機器の製造販売を開始したほか、医療用素材の開発で一定の成果を上げることができました。また分析・計測機器分野を得意とし、充実した海外販売ネットワークを持つ日東精工アナリティックをグループ化するなど、事業領域の拡充を行いました。

事業においては、新型コロナウイルスによる受注減少により業績の悪化は避けられませんでした。コロナ禍での巣ごもり需要によりゲーム機やパソコン向けファスナー製品の販売が好調に推移したことや、自動車のCASEに関連する設備投資が堅調であったことなどが一定の収益確保につながっています。

持続可能な社会をつくる持続可能な企業となるために

日東精工の4つのマテリアリティである「お客さまとの共有マテリアリティ」、「地方創生」、「環境共生」、「人財育成」に対して2020年も積極的に取り組んできましたが、中でも医療用素材の開発と健康増進活動については、特に成果としてご報告できるレベルになったと考えています。医療用素材の開発については、今までの骨折治療に革新をもたらしたマグネシウム素材の開発に成功しました。骨折された方の手術の負担が軽減できるものであり、世界中の人に求められる取り組みが成果として発表できたことを大変嬉しく思っ

ています。今後は早期の実用化に向けて積極的な投資と体制づくりを進めていきます。また、健康増進活動については、中期経営計画の事業戦略に取り入れ取り組んだ結果、上場企業の金属製品銘柄で唯一の健康経営銘柄2021として認めていただくことができました。

持続可能な社会をつくる持続可能な企業となるための前提には、従業員が健やかに、人のため、社会のために働ける風土と環境が必要であると考えています。

2021年の取り組み

2021年の経済は、引き続き新型コロナウイルスの影響を受けながらのスタートとなりました。昨年末からの受注回復を機に低重心経営によって向上した収益力を維持しながら、グループ最高業績を目指した取り組みを進めています。今年の「お客さまとの共有マテリアリティ」、つまりソリューション製品のテーマは、「環境対応」、「成長事業」、「モノづくり改革」です。今年もお客さま満足度120%に応える商品をリリースし、事業の収益性を高めていきます。残り3つのマテ

リティである「地方創生」、「環境共生」、「人財育成」については、地域との連携をさらに強化し、ESG、SDGs活動を確実に前進させていきます。また、中期経営計画の戦略テーマであるグループ33社の有機的なシナジー効果を生み出すため、事業ポートフォリオの最適化に取り組むとともに、昨年のwithコロナで課題が鮮明になったグループ内のICT化、IoT化による抜本的な業務改革、生産改革をテーマとして掲げ、効果、効率の高い企業価値の創造を目指していきます。

長期経営計画 2019～2028年

VISION ビジョン 世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す

中期経営計画 2019～2022年

NITTOSEIKO Mission “G”

顧客、市場のニーズにグループの総合力でより高く応える
～Group’s Global Growth～

“G”とは、経営ビジョンである「モノづくりソリューショングループ」になるために目指すべき3つのキーワード「Group’s Global Growth」を表し、日東精工グループ全体でそれぞれの“G”を追求していきます。

戦略テーマ

- ①グループの有機的結合によるシナジーの追求
- ②グローバルな事業領域の開拓と拡充
- ③ソリューションを武器にお客さま満足度向上への徹底の実践
- ④モノづくり力を高める製造力、製品開発力の徹底追求
- ⑤ブランド求心力の向上と従業員の活性化

Group’s.....
ベクトルを合わせ互いのシナジーを追求
Global.....
グループの提案力と行動力で世界へ
Growth.....
革新的QCIDIの向上でグループ全体の成長を



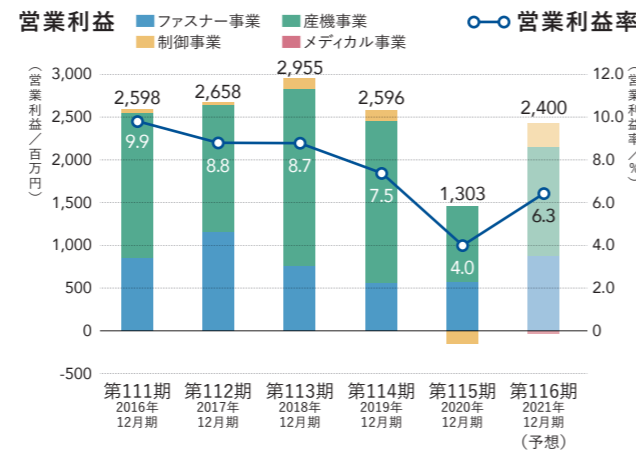
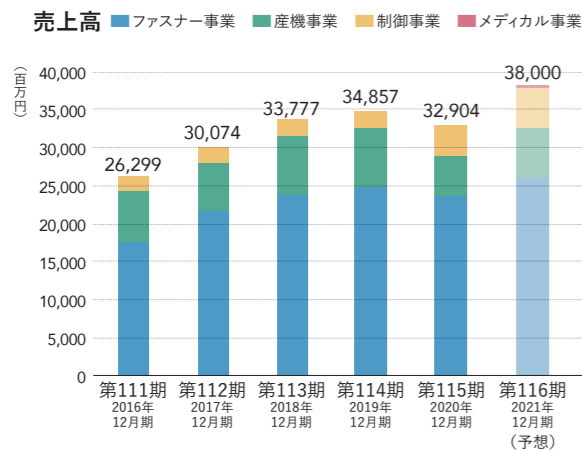
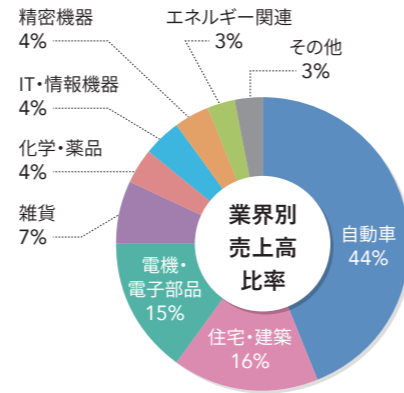
最終年度(2022年12月期)目標数値(連結)

売上高	55,000百万円
営業利益	4,705百万円(8.6%)
経常利益	4,941百万円(9.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,896百万円(5.3%)
R O E	8.8%以上

中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」

戦略テーマの取り組み報告

2020年は新型コロナウイルスの感染防止により、各国の水際対策や、移動制限、勤務形態の変更が必要となる中、期首に計画していた施策を縮小あるいは延期する決断をいたしました。コロナ禍による業績の悪化は避けられませんでした。そのような中でも感染防止対策を講じながら施策を継続し、一定の効果が得られたものを報告します。



1 グループの有機的結合によるシナジーの追求

ファスナー製品においては、グローバルサプライチェーンを目指すと同時に、共通してニーズの高い品目については地産地消の生産体制もグループ戦略の一つに取り入れています。これを応用し、一拠点では生産能力に限界がある製品へハイリスクな設備増強を行うことなく、敏速にグループ内で生産体制が構築できる環境も整えています。

2020年度の取り組みの実例

- 日本のファスナー製品生産能力超過分をタイ、中国を中心とした海外グループでカバー
- シナジー施策に取り組んだグループ5社のグループ内売上高2019年度比約38%UP

2 グローバルな事業領域の開拓と拡充

新型コロナウイルス感染防止のための各国の水際対策により、新たな海外進出、販売エリアの拡大につながる取り組みが十分に実施できませんでした。しかし、M&Aによるグループ販売ネットワーク拡充の環境構築、中国における事業強化など、行動が制限される中においても可能な限りの取り組みを行いました。

2020年度の取り組みの実例

- 日東精工アナリテックの子会社化によるグループ販売ネットワークの拡充
- 中国、東莞和光汽車零配件有限公司の業務開始により、住宅機械、家電、自動車部品などを製造するお客様の現地調達をサポート

3 ソリューションを武器にお客さま満足度向上への徹底実践

グループ33社のシナジー効果を高める施策として、「グループ商品をグループで拡販」という取り組みを行っています。33社のうち半数以上は商社または商社機能を持った会社です。それぞれ業種、商品、主要顧客などで特徴を活かし事業を展開していますが、さらに日東精工グループの商品を理解し、お客さまに機会損失なく、高効率に幅広い提案ができるよう取り組みを強化しています。

2020年度の取り組みの実例

- 伸和精工のプレス製品をグループの販売ネットワークで拡販
グループ間取引額2019年度比約16%UP
- タイから日本への産機部品供給、日本からタイへのジオカルテ販売
グループ間取引額2019年度比約23%UP

4 モノづくり力を高める製造力、製品開発力の徹底追求

日東精工グループは、産業機械を製造販売する一方で、ファスナー事業や制御事業も行っていることから、開発した産業機械を積極的にグループ内の生産現場に投入しています。中期経営計画の中で目指しているモノづくり力とは、社内の生産性の向上だけを指すものではありません。グループ内で実践における課題のフィードバックを行い、産業機械製品のさらなる付加価値向上に活かしています。

2020年度の取り組みの実例

- 高性能検査選別装置を新たに高速、高機能化し、ファスナー生産現場に投入
- 日東精工アナリテックの製品用に日東精工の高品質かつ高速生産設備を開発(2021年導入予定)
- めっき排水処理工程に自社製品であるマイクロバブル発生装置を組み込み、油分除去を促進

5 ブランド求心力の向上と従業員の活性化

日東精工は、半世紀以上前から健康増進を社是にうたい、健康で働きやすい職場環境づくりに努めてきました。2019年から始まった中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」には、「健康経営」を戦略として盛り込み、社員のQOL(生活の質)向上に取り組んできました。この取り組みを評価していただいた結果、右記の認証も受けています。従業員および家族の健康は、事業継続、成長には不可欠な最重要項目の一つだと考えています。一人ひとりの多様性に応じた、心と体の健康を自ら考えて行

動できる人づくり、環境づくりを推進し、組織を活性化し生産性を高めることで、さらなる企業価値向上を目指しています。

2020年1月 健康保険組合連合会「健康優良企業認定証『銀』」
 2020年3月 経済産業省「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」
 2021年1月 スポーツ庁「スポーツエールカンパニー2021」
 2021年3月 経済産業省、東京証券取引所「健康経営銘柄2021」
 2021年3月 経済産業省、日本健康会議「健康経営優良法人2021(ホワイト500)」

新型コロナウイルスへの対応

東京・大阪・名古屋の3支店においては在宅勤務や時差出勤を行い、感染防止に努めました。また、保育園や学校の休園・休校時には育児短時間勤務制度の制限を緩和し、対象となる子どもの年齢を小学3年生以下から小学6年生以下まで拡大しました。他にも、昼休憩を時間差でとり対面での食事を避けるようルールを定めたり、都市圏以外の事業所についても職場分散を行ったりと、感染防止対策を実行しました。生産・営業活動に影響を受けましたが、一方でこれまでの働き方を

変える必要に迫られたことで、従来にない販売のアプローチを取り入れたり、業務のムダに気づいたりすることができたという面もあります。リモートにより遠方のお客さまへも迅速に製品のご提案をしたりご相談を受けたりすることが可能となりました。また、支店間・工場間の会議、社内研修のリモート化を推進したことで、会議の効率アップや研修機会の増加にもつながりました。今後も感染防止に努め新しい生活様式に対応した働き方を進めると同時に、今回の働き方の見直しをきっかけにした業務改革にも積極的に取り組んでいきます。

成長投資と資本効率化の推進

日東精工は、前中期経営計画「日東パワーアッププランFINAL(2015～2018年)」において『事業領域の拡充に挑戦する』との基本方針を掲げ、グループの企業価値向上に資すると判断した成長投資を積極的に実施してきました。

このような成長投資への取り組みは、進行中の中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G” (2019～2022年)」に引き継がれ、直近5年間にグループ全体で156億円を戦略的に投資し、新製品開発やM&Aなどを実施しています。

これらの成長戦略を支えているのは、日東精工のDNAとも言える堅実経営の積み重ねによって築き上げられた強固な財務基盤です。これを維持しながら、さらなる企業価値向上と株主のみならずさまへの利益還元の実現を目指していきます。

さて、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたことから、グループ企業の事業継続を最優先課題としましたので、期初に掲げた『過去最高業績を更新する』という目標は2021年度に引き継ぐこととなりました。

「NITTOSEIKO Mission “G”」の折り返し期間である2021～2022年では、成長投資の継続に加えて、投資リターンの追求を一層強化していきま

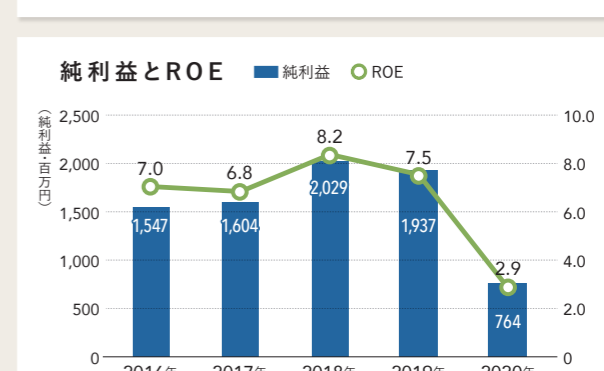
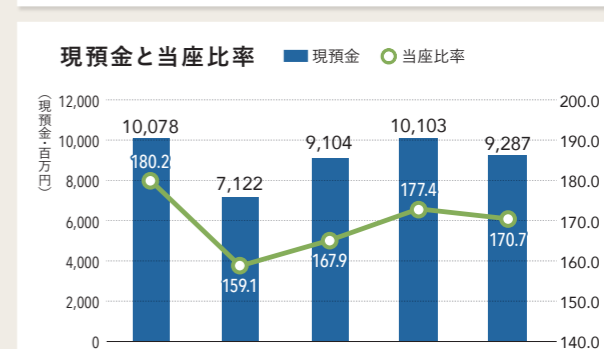
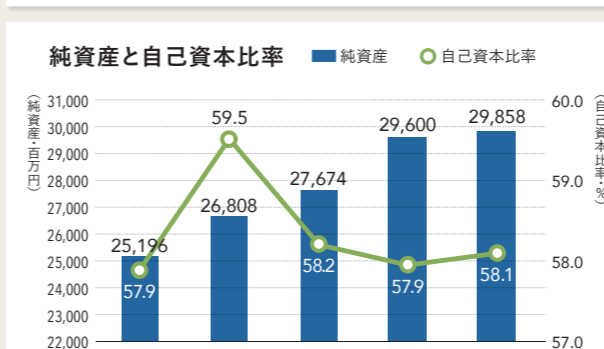
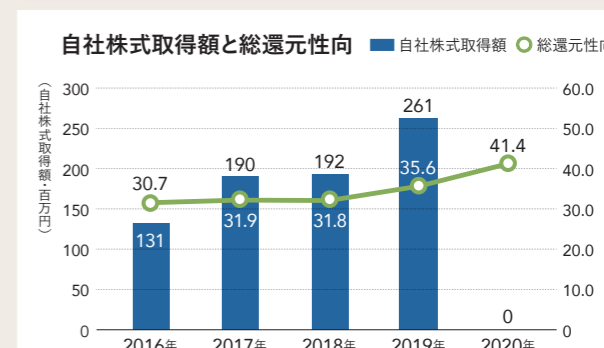
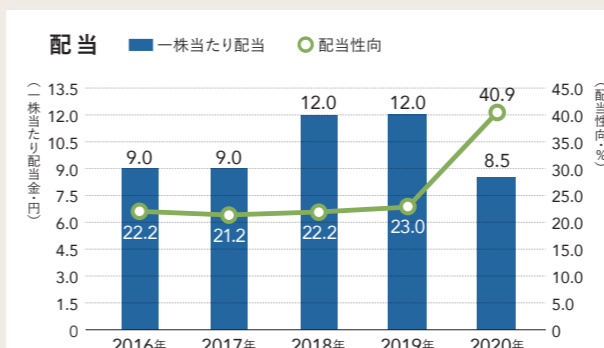
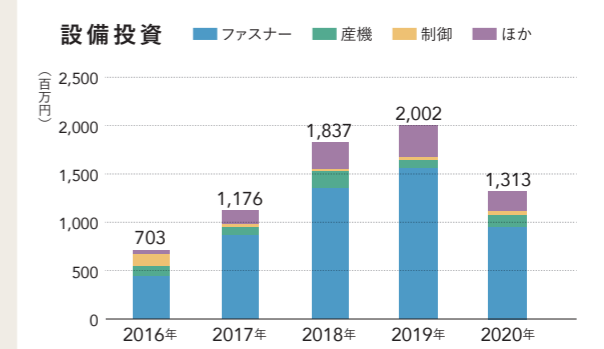
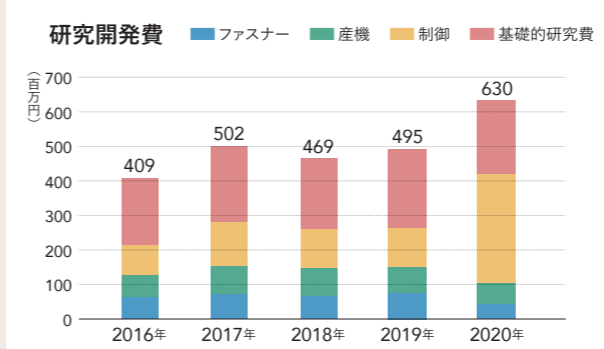
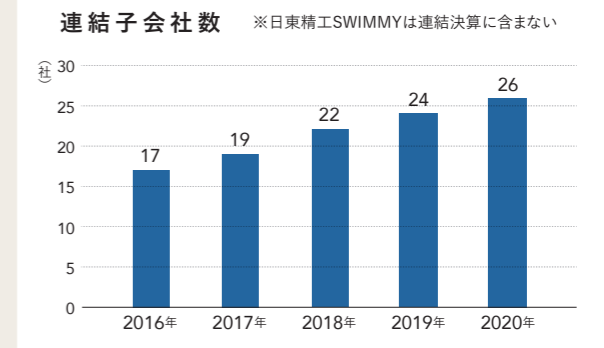
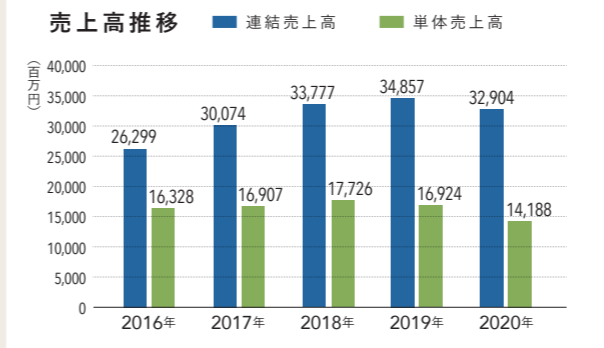
す。そして、投資リターンを最大化するために、2つの財務戦略を推進します。

一つは、グループ経営のシナジー効果のさらなる創出です。日東精工グループは33社の関係会社(うち連結子会社26社)から成り、事業内容・規模はさまざまです。各社の経営状態に応じた資金調達・運用や事業コストの最適化に加え、ムダの削減など、コスト構造の改善による収益性の向上に取り組んでいきます。

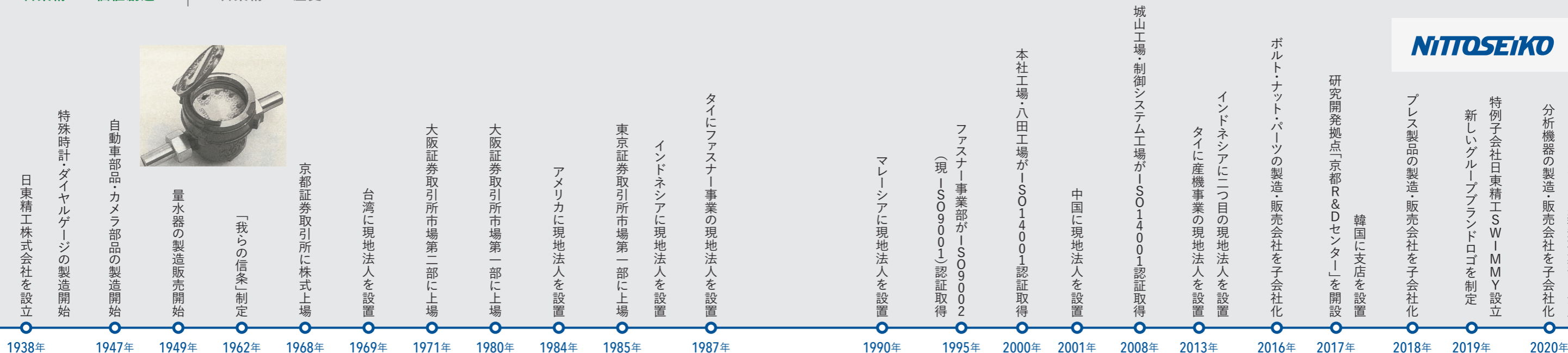
もう一つは、資本コストに応じた収益力の強化です。株式の流動性向上や負債・資本調達バランスの最適化などによる資本コストの引き下げを目指すとともに、事業セグメント・製品群別で投下資本に対する収益性を指標化することにより、投資対象事業の評価と見直しを行い、投下資本収益率の向上に努めます。



取締役 兼 執行役員
財務部門担当 兼 監査部門担当 兼 監査部長
松本 真一



日東精工の歩み



創業～下請時代

事業基盤の確立

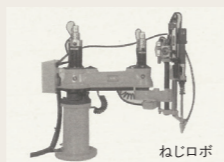
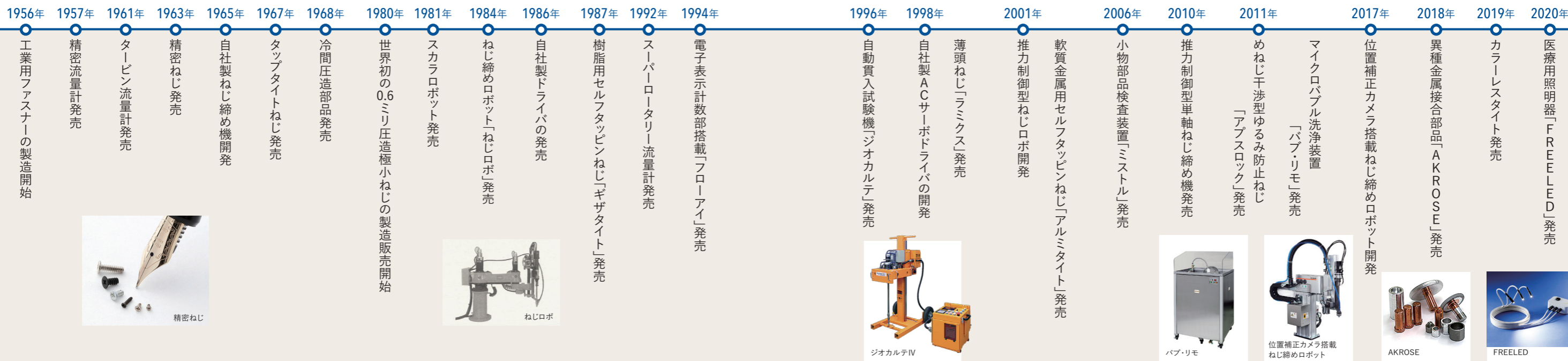
グローバルに展開

ワングループ推進

積極的事業拡大

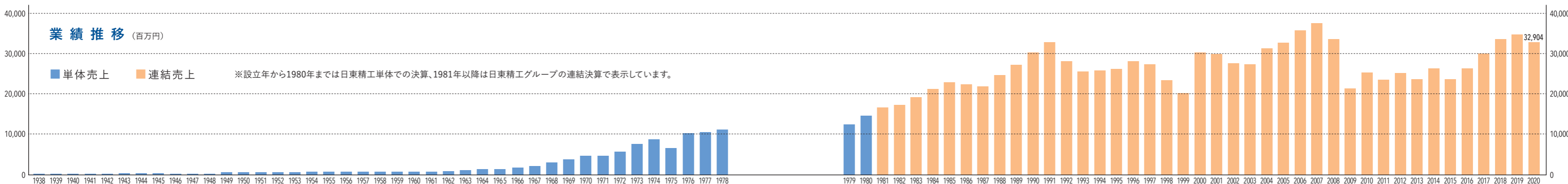
新長期ビジョン

製品について



業績推移 (百万円)

■ 単体売上 ■ 連結売上 ※設立年から1980年までは日東精工単体での決算、1981年以降は日東精工グループの連結決算で表示しています。



国内グループ会社 (2020年12月31日現在)

お客さまにより最適なソリューションをお届けするために、それぞれが得意とする技術や販売ネットワークを組み合わせたとご提案を行っています。

日東精工株式会社

本社・東京支店・大阪支店・名古屋支店・北関東営業所・広島営業所・九州出張所
[事業内容]工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置、医療機器の製造・販売

・従業員数……………551人

日東公進株式会社

[事業内容]
計数機・包装機、基板検査装置の設計・製造・販売、自動組立機械の製造

・従業員数……………54人

★ここに注目

2020年、ロボットビジョン搭載部品供給機を開発

株式会社ニッセイ

[事業内容]
工業用ファスナー類の熱処理、損害保険の代理店業務

・従業員数……………42人

★ここに注目

日東精工ファスナー製品の熱処理・めっき処理を行う

和光株式会社

[事業内容]
締結部品、切削・プレス部品、ASSY品、治工具類、自動組立機械の販売

・従業員数……………38人

★ここに注目

メーカー商社ならではの調達力を活かし、さまざまな製品を供給

株式会社ファイブ

[事業内容]
工業用ファスナー類の検査・包装

・従業員数……………41人

★ここに注目

日東精工ファスナー製品の検査・包装・倉庫管理を行う

東洋圧造株式会社

[事業内容]
自動車用ボルト、機構部品の設計・製造・販売

・従業員数……………23人

★ここに注目

自動車産業向けを中心に「冷間圧造+α」の加工に取り組む

東陽精工株式会社

[事業内容]
冷間鍛造用金型、成形用金型、各種金型、治工具類の製作・販売

・従業員数……………46人

★ここに注目

冷間圧造金型などのさまざまな加工を社内一貫で行う

株式会社協栄製作所

[事業内容]
住宅用、建設機材用締結部品(ねじ、ボルトその他)の設計・製造・販売

・従業員数……………119人

★ここに注目

M27までのボルト製造が可能

日東工具販売株式会社

[事業内容]
工業用ファスナー・ねじ製造用工具・ドライパビット、自動組立機械、計測検査装置の販売

・従業員数……………6人

★ここに注目

ねじ製造用工具を中心に日東精工各事業部製品を展開

株式会社伸和精工

[事業内容]
精密プレス金型、冷間鍛造金型、各種治工具の設計製作・販売、精密プレス部品加工

・従業員数……………84人

★ここに注目

2020年、自動車・医療分野の展開を視野に新工場を設立

松浦屋株式会社

[事業内容]
工業用ファスナー、工具類、自動組立機械、表面処理装置などの販売

・従業員数……………36人

★ここに注目

医療分野・自動車関連などに注力

日東精工SWIMMY株式会社

[事業内容]
一般事務、軽作業の受託請負業務

★ここに注目

2020年、京都はあとふる企業に認証

日東精工アナリテック株式会社

[事業内容]
分析関連機器の開発・製造・販売

・従業員数……………87人

★ここに注目

2020年、自動滴定装置GT-310を開発

九州日東精工株式会社

[事業内容]
工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置の販売

★ここに注目

日東精工製品やオリジナル品(金属精密加工部品・樹脂成型品など)を販売

グローバルネットワーク (2020年12月31日現在)

お客さまにより満足いただくために、お客さまの近くできめ細かい迅速な対応を行っています。

韓国 KOREA

日東精工株式会社 韓国支店

[事業内容]
工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置の販売

★ここに注目

韓国への拡販と日本への輸出販売を行う

中国 CHINA

日東精密螺絲工業(浙江)有限公司

日東精密螺絲工業(浙江)有限公司 広州支店

[事業内容]
工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売

・従業員数……………106人

★ここに注目

2020年、新たに第2工場を設立し、産機事業の拡大に着手

東莞和光汽車零配件有限公司

[事業内容]工業用部品の組立および販売
・従業員数……………5人

★ここに注目

2020年5月より事業開始

香港和光精工有限公司

[事業内容]工業用ファスナーの販売
・従業員数……………2人

先端精密金属製品(深圳)有限公司

[事業内容]精密プレス製品の製造・販売
・従業員数……………3人

伸和精工(香港)有限公司

[事業内容]精密プレス製品の販売

松浦屋香港有限公司

[事業内容]工業用ファスナーの販売
・従業員数……………3人

台湾 TAIWAN

旭和螺絲工業股份有限公司

[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売
・従業員数……………158人

★ここに注目

2020年、ゲーム機向け精密ねじの売上が大幅増加

ベトナム VIETNAM

WACOH VIETNAM CO., LTD

[事業内容]工業用ファスナー等の販売
・従業員数……………6人

タイ THAILAND

NITTO SEIKO(THAILAND)CO., LTD.

[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売
・従業員数……………180人

★ここに注目

自動車向け製品を中心に、オリジナル製品を展開

THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD.

[事業内容]自動組立機械、計測検査装置の販売
・従業員数……………7人

★ここに注目

2020年、はじめて地盤調査機を販売

マレーシア MALAYSIA

MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD.

[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売、自動組立機械の販売
・従業員数……………96人

★ここに注目

LMW(内製)とIPC(輸入販売)のライセンスを所有

インドネシア INDONESIA

PT. NITTO ALAM INDONESIA

PT. NITTO ALAM INDONESIA BEKASI FACTORY
[事業内容]工業用ファスナーの製造・販売
・従業員数……………151人

★ここに注目

タンゲランとブカシでの2工場体制

PT. INDONESIA NITTO SEIKO TRADING

[事業内容]工業用ファスナー、自動組立機械、計測検査装置の販売
・従業員数……………2人

★ここに注目

グループを通じたさまざまな輸入品を販売

アメリカ U.S.A.

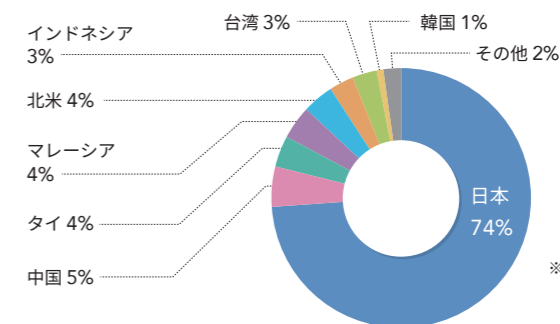
NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION

NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION テネシー支店
[事業内容]自動組立機械、工業用ファスナー、計測検査装置の販売
・従業員数……………10人

★ここに注目

展示会でPR活動を実施

地域別売上高比率



※お客さまの所在地を基礎として分類しています。

SDGs(持続可能な開発目標)の示すゴールへ

国際的な目標として掲げられたSDGsに日東精工も賛同し、企業活動を通じて社会的な課題の解決につなげたいと考えています。そのために、4つのマテリアリティ(自社に関わる重要課題)を設定し、重点的に取り組んでいます。

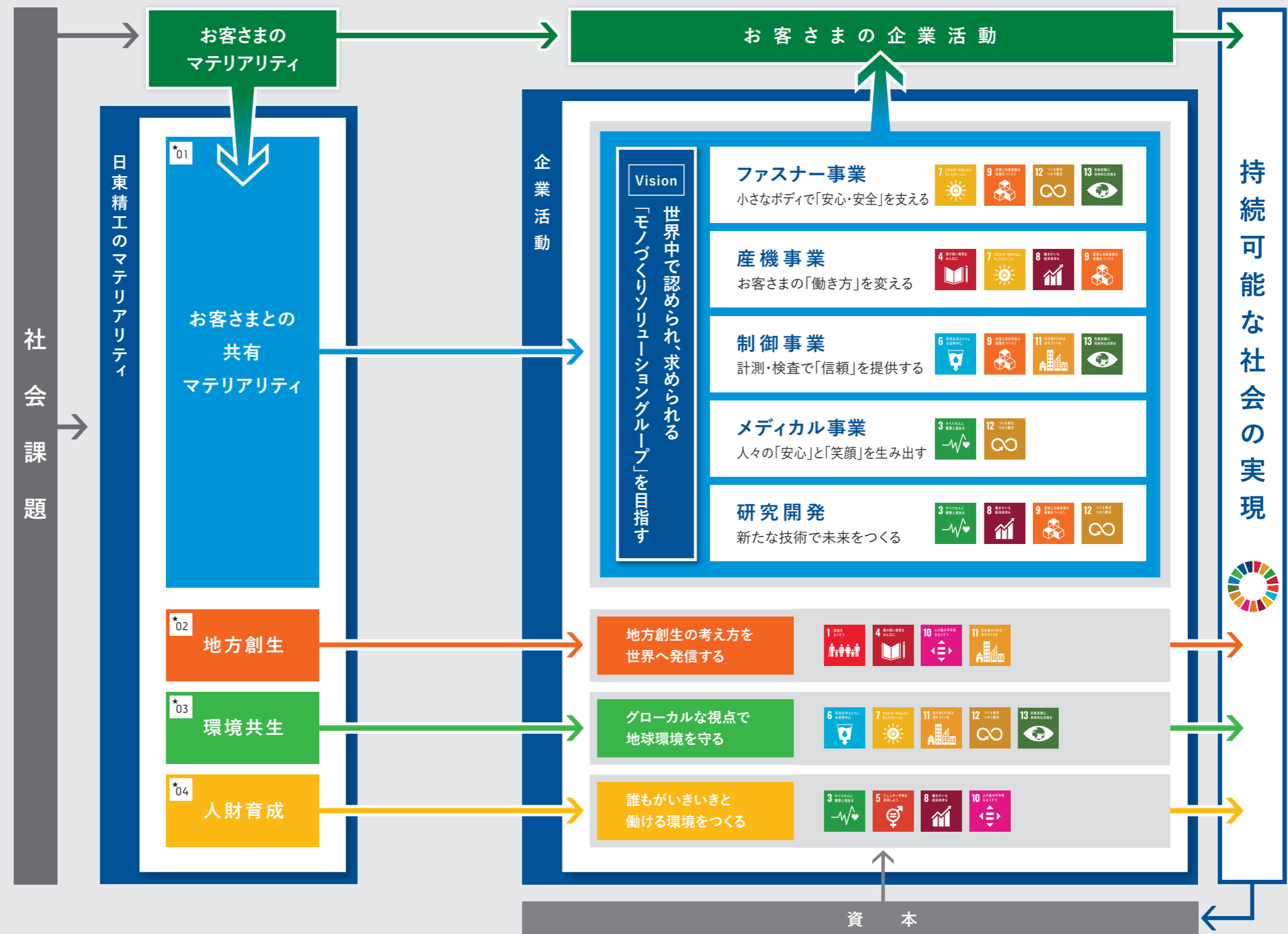
***01 お客さまとの共有マテリアリティ**
B to Bビジネスによってお客さまのそばで直にニーズを汲み取り、日東精工の技術やノウハウから解決方法を提案します。お客さまのマテリアリティを共有し解決することで、多岐にわたる分野においてSDGsに貢献します。

***02 地方創生**
創業から一貫して綾部市に本社を置く日東精工はコネクタール企業としての役割を担っており、地域の産業振興に寄与してきた自負があります。今後もこれまで以上に取引先や自治体と連携し、地方の活性化に貢献します。

***03 環境共生**
創業以来自然豊かな地域に拠点を置き、産業の発展とともに人と自然の共存共栄を学んできました。今後も地域環境や地球環境を維持し次代へつなぐため、環境保全を最優先事項の一つと位置づけ取り組みます。

***04 人財育成**
今後ますます課題となる国内事業の継続、労働者不足、働き方改革に対しては、人財育成の取り組みを充実させていくことが重要です。独自の人財育成システムに加え、ダイバーシティとインクルージョンを推進することで、誰もがいきいきと働ける環境をつくります。

日東精工の価値創造モデル



ESGの観点からも価値創造フローを検証、補完

E 自然環境への配慮
Environment
環境汚染や生物多様性への配慮、省エネ・CO₂排出量削減など

S 現代社会への影響
Social
働き方改善やダイバーシティ推進、地域社会への貢献など

G 企業内の管理体制
Governance
経営の透明化、資本効率化、情報発信の取り組みなど

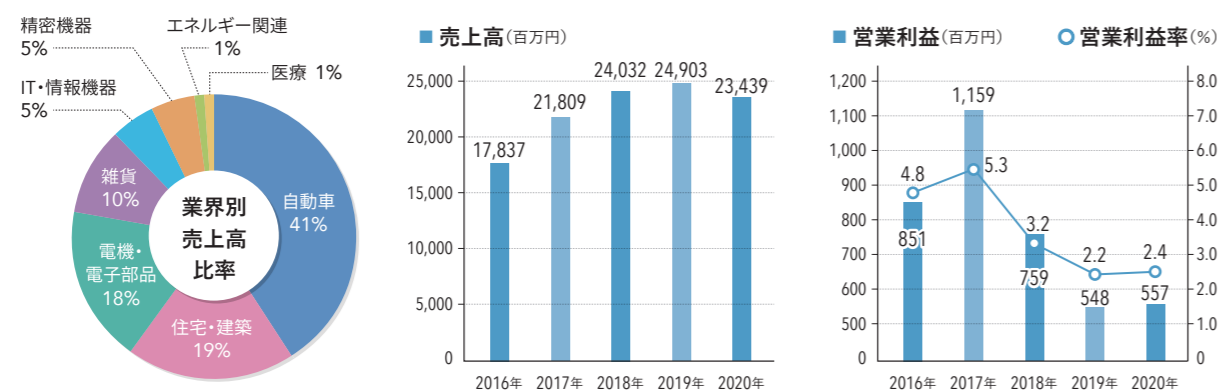
小さなボディで「安心・安全」を支える

経験を重ねた圧造技術を駆使して機能的な形状を提案し、お客さまの製品の安全性や性能を高めます。



主な製品 精密ねじ、セルフタッピンねじ、ゆるみ止めねじ、特殊冷間圧造部品、複合部品、異種金属接合部品、ねじ製造用工具、建築用ボルト、精密プレス部品

執行役員
ファスナー事業部
事業部長
浅井 基樹



2020年の概況・取り組み

精密ねじは、コロナ禍における外出自粛や大学のオンライン授業・企業のリモート会議などの対応を背景に、ゲーム機やパソコンの需要が好調に推移しました。一般ねじは、新しい生活様式における通勤・通学的手段として注目される自転車向けの需要などが増加しましたが、コロナ前の経済水準までの回復には至らず厳しい状況となりました。

このような状況のもと、自動車の電動化による蓄電池の需要拡大を見据えて、異なる金属同士を強固に密着させる「AKROSE」の販売促進と生産体制の拡充を図りました。また、AKROSEに拡散接合を施した「AKROSE HYBRID」や高精度で大量生産を可能にした「ギヤ部品」を開発し、市場に投入しました。

2021年の取り組み計画 [テーマ]自動車分野・軽量化・パーツ化

EV車の需要拡大に伴い燃費向上のために軽量化が求められると同時に、EV車用の電池、センサー、ECUなど個々の部品に合ったより品質の高い締結部品が必要とされます。オリジナルタッピンねじやAKROSE、2021年2月に発売した新型クリ

ンチングスタッドボルトなど、多彩な締結部品の組み合わせを提案し、コストと環境の両面でニーズに応え拡販を図ります。また、昨年設立した新たな海外拠点や子会社の新工場なども協業して市場の開拓、販売強化を目指します。

TOPICS

子会社の製造・販売拠点の拡充

- 中国南部地区の需要拡大のため、香港和光有限公司が広東省に新会社「東莞和光汽車零配件有限公司」を設立しました。
- 伸和精工が第2工場を新設しました。自動車業界、医療業界からの需要に応えます。

AKROSE HYBRIDの開発

異種金属接合技術「AKROSE」により接合させた部品に熱処理を施すことで密着性をさらに向上させる技術「AKROSE HYBRID」を開発しました。

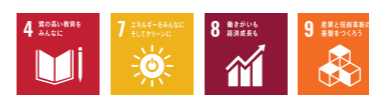


「ギヤ部品」の開発

当社の培ってきた冷間圧造技術を活かし、従来の切削加工を用いないギヤ部品の開発に成功しました。

お客さまの「働き方」を変える

お客さまへのモノづくりの提案で、さまざまな社会課題に対応できる働き方改革を実現します。



主な製品 ACサーボねじ締めドライバ、ねじ締め機、ねじ締めロボット、ねじ供給機、リベットかしめ機、自動組立機

常務取締役 兼
常務執行役員
産機事業部
事業部長
澤井 健



2020年の概況・取り組み

国内は、自動車のCASEに関連する設備需要が好調に推移しました。また、中国において、各地の自動車の購入促進政策の導入を背景に、自動車関連業界の設備需要が堅調に推移しました。一方、新型コロナウイルスの終息時期の不透明感から、多くの業界において設備投資計画が凍結・延期されるなど、事業環境は、標準機・自動組立ラインともに厳しい状況となりました。

このような状況のもと、IoTなど産業ネットワークに対応したコントローラ「RC77-T1」を開発し需要の拡大に努めました。また、CASE市場を中心に、自動車関連業界で評価が高い高機能型ドライバの販売促進に取り組みました。併せて、国内外の展示会への積極的な出展による需要の拡大に努めました。

2021年の取り組み計画 [テーマ]電動化・自動化・ネットワーク(つながる)化

2020年は新型コロナウイルスの影響により生活様式が一変しましたが、製造現場においても新しい働き方を採用していく必要があります。現在リモートでの作業を可能にするIoT化対応製品や、ソーシャルディスタンスを保った人員配置のための協働ロ

ボット用ねじ締め機の開発などを行っており、早期の製品化を目指します。また、製品の安全性の保証のため、CEマーキング商品の拡大、RoHS生産体制の構築を進めます。

TOPICS

「FEEDMAT FMシリーズ」IoT対応モデル発売

単軸ねじ締めユニット専用コントローラであるRC77に高速・高精度処理が可能なPLCを搭載したコントローラ(RC77-T1)を開発し、産業ネットワークの拡充とフレキシブルなプログラム対応を可能にしました。



ロボットビジョン搭載部品供給機を開発

日東公進がロボットビジョンを搭載した部品供給機を開発しました。金属だけでなくプラスチック、ゴムなどさまざまな種類の部品の選別、供給に対応します。



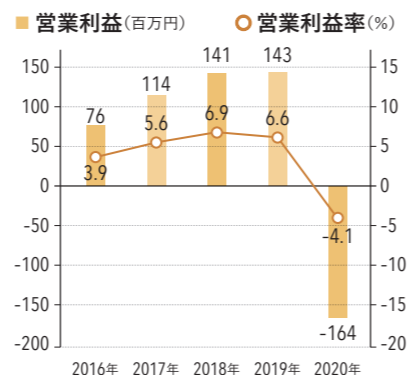
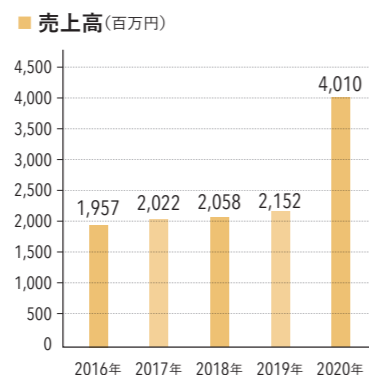
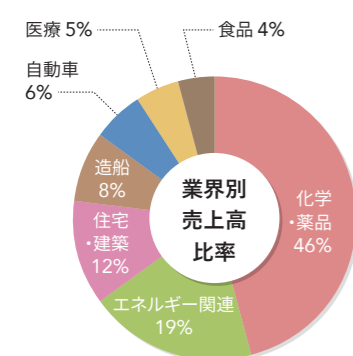
計測・検査で「信頼」を提供する

より正確で、より高速な計測・検査を追求し、お客さまのモノづくりに信頼を提供します。



主な製品 流量計、計装システム、検査選別装置、マイクロバブル洗浄装置、地盤調査機、分析関連機器

取締役 兼 執行役員
制御システム事業部 事業部長
山添 重博



2020年の概況・取り組み

流量計は、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に消毒液の需要が増加し、医薬品業界で好調に推移しましたが、主な需要先である造船業界を中心に需要が低調となりました。システム製品および自動貫入試験機「ジオカルテ」は、一部に需要回復の動きが見られるものの、設備投資計画の凍結・延期の動きが強く、売上に貢献するまでには至りませんでした。また、M&Aにより分析・計測機器の売上が大幅に増加する

一方、株式取得関連費用などを計上しました。このような状況のもと、自動貫入試験機「ジオカルテIV」および「ジオカルテIV SDS」を開発し需要の拡大に努めました。併せて、防爆エリアで安全な定量計測を可能にする定量バッチ制御装置「防爆バッチカウンタPX2」、日中の屋外環境下でも優れた視認性で流量管理を可能にする「高輝度大型表示器DS1」を市場に投入しました。

2021年の取り組み計画 [テーマ] 防爆化・新技術・新分野

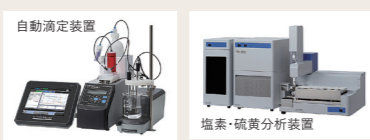
より安心・安全な計測・制御装置を提供するため、現在既存製品の防爆認証を順次取得しています。水と空気だけで洗浄可能な環境負荷の低いマイクロバブル生成技術においては、新しい分野への参入を目指し現在他社との共同開発を

行っています。グループ協業においては、2020年に子会社化した日東精工アナリテックが持つ販売拠点を活用し拡販を進めていきます。また、既存製品のIoT化を進めるべく開発を行っています。

TOPICS

日東精工アナリテックを子会社化

元素計や水分計などの製造販売を行う日東精工アナリテックを子会社化しました。



各種分析機器の製品ラインナップが豊富であり、グループ内で既存の計測機器とのシナジー効果を戦略的に進めています。

日東精工アナリテック

自動貫入試験機「ジオカルテ®IV」発売

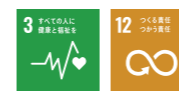
地盤調査において高い市場シェアを誇るジオカルテシリーズの最新機種「ジオカルテIV」および「ジオカルテIV SDS」を発売しました。本製品はBluetoothにより試験データの転送が可能になり、作業効率がアップしました。



※SDS試験は、東京都市大学、ジャパンホームシールド、日東精工の共同開発による試験方法です。

人々の「安心」と「笑顔」を生み出す

人を想う真摯な眼差しと精緻なモノづくりのノウハウで、新たな事業領域を開拓していきます。



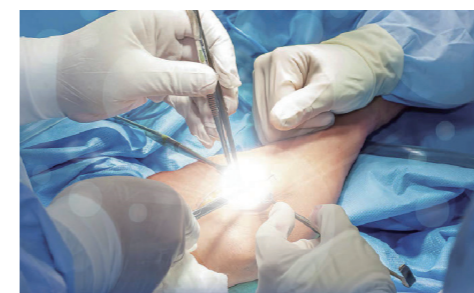
取締役 兼 執行役員
メディカル新規事業部 事業部長
上嶋 伸宏



2020年の概況・取り組み

中期経営計画「NITTOSEIKO Mission "G"」の戦略テーマに基づき、事業領域の拡大のため新たな柱となる新規事業への参入に向け準備を進めてきました。その一つに成長分野として期待される医療分野の製品開発、市場開拓があります。医療機器製造販売業ならびに医療機器製造業の認可を取得し、

昨年の4月にはメディカル新規事業部を立ち上げ、手術時の患部を照らす医療用照明器「FREELED」を製品化しました。現在、専門医の声を聴きながら、多様な手術の環境下で活用されるよう機能性の向上に取り組んでいます。



医療用照明器「FREELED」

2021年の取り組み計画

グループにおける医療業界向けビジネスが一定のレベルまで成長してきたことから、2021年度からはメディカル事業を既存の3事業に次ぐ第4の柱と位置づけ、事業戦略を強化していきます。また、2021年2月に世界初となる医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料の開発に成功したことを発表しました。この研究は京都府が主催する研究会において産学官連携を進めてきたものです。安全で強度を有したインプラント製品を提供

することにより、骨折治療へのインプラントを用いた手術を推進できると考えています。特に、これまで金属製インプラントの手術が必要であった骨接合後のインプラントの抜出手術が不要になり、患者さまの負担の軽減につながる大きなメリットであると期待しています。実用化にはまだ時間を要しますが、早期の製品化に向けて注力していきます。

医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料の特徴

- 99.95%以上の高純度マグネシウム
- 溶解スピードが緩やか
- 骨に近い強度としなやかさ
- 独自の精錬技術



本開発材料

医療用インプラントへの応用事例(試作品)

E グローカルな視点で地球環境を守る

Environment



日東精工が本社を置く綾部市は「森の京都」エリアであり、自然との共存およびワークライフバランスの象徴である「半農半X」が生まれたまちでもあります。創業以来その自然豊かな地域に拠点を置き、産業の発展とともに人と自然の共存共栄を学んできました。今後も地域環境や地球環境を維持し次代へつなぐため、環境保全を最優先事項の一つと位置づけ取り組みます。

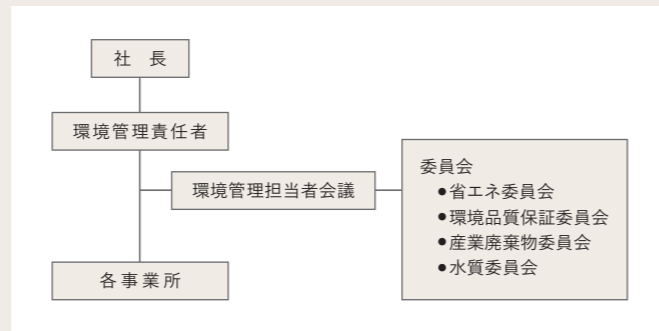
環境マネジメント

基本理念

地域社会と共存共栄を図り、環境に対しては先手を打ち、環境にやさしい、環境に負荷を与えない取り組みを実践し、社会に信頼していただける会社を築いていきます。

環境管理体制

社長以下、環境管理責任者のもと、各部門において、環境管理活動を展開しています。また全社の委員会として環境管理担当者会議、専門委員会として各推進委員会を設置し、目的目標の達成に向けた活動を行い、各部門で展開しています。



綾部市の4つすべての工場(本社工場、八田工場、城山工場、制御システム工場)においてISO14001を取得しており、環境管理システムを推進中です。

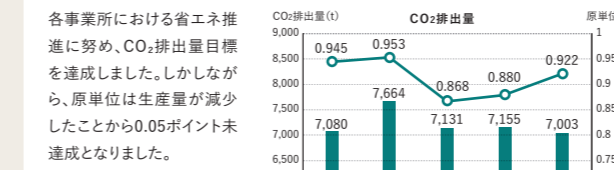
製品含有化学物質管理

環境品質経営責任者をトップに環境品質保証体制を確立しています。原材料や購入品の調達においては、有害物質が含有しないように受入検査を実施。製造工程では、使用する薬品や補助材料、機械装置からの汚染がない仕組みを、出荷検査は、有害物質の含有がないことを保証する仕組みを確立しています。

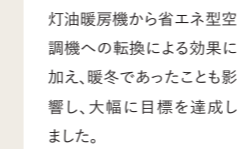
管理項目	環境品質保証の対象物質
<ul style="list-style-type: none"> 取引先との品質環境協定書の締結 購入品の不使用証明書、エビデンスの入手 内部環境品質監査の実施 トレーサビリティの管理 環境品質教育の実施 不適合・是正の管理 法規制及びユーザ基準の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> ELV・RoHS指令物質 REACH規制対象物質 POPs条約物質 ユーザグリーン調達ガイドラインに定める物質 <p>法規制及びユーザ基準に定められた含有禁止物質は使用していません。</p>

気候変動への対応

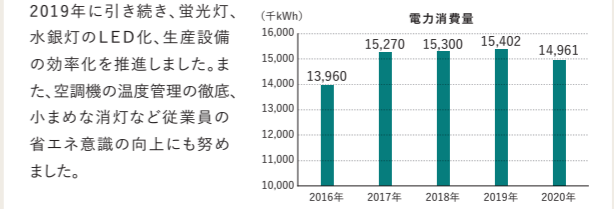
CO2排出量の削減



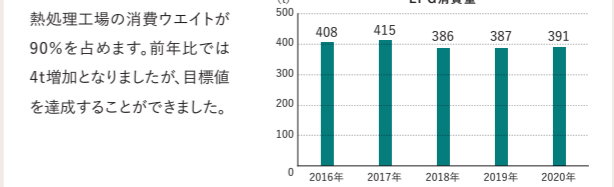
灯油消費量の削減



電力消費量の削減



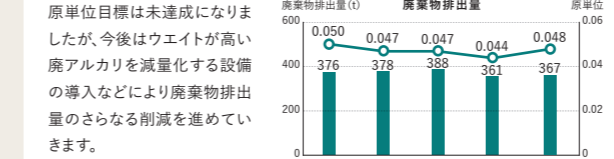
LPG消費量の削減



循環型社会形成のための取り組み

循環型社会形成のための取り組みとして、環境配慮型製品の積極的な利用や、分別廃棄の徹底、再生資源化とともに有価物化を推進しています。6Rの推進(Reduce, Reuse, Recycle, Refine, Repair, Refuse)、工程内および完成品不良の削減にも取り組み、廃棄物処理費用の削減にもつなげています。

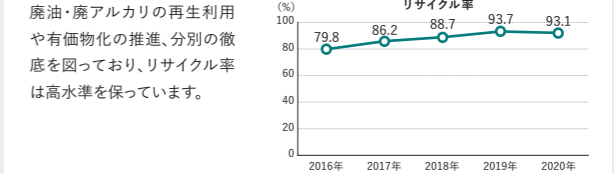
廃棄物排出量の削減



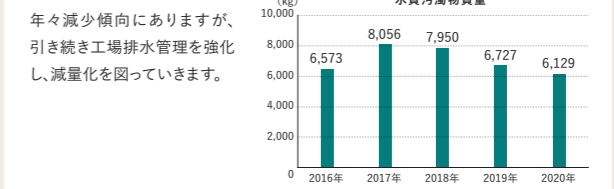
廃アルカリ減量化設備の設置

「廃アルカリ減量化プロジェクト」を立ち上げ、社内の廃棄物の約半数を占める、廃アルカリの減量化について検討を重ねてきました。2021年、新たに廃アルカリ減量化設備を設計・製作し、比較的きれいな廃液を自社処理することにより、年間廃棄物総量の5%を削減できる見込みです。設備の中にはマイクロバブル洗浄装置の技術を用いています。※設備は2021年5月より稼働予定。

リサイクル



水質汚濁物質の削減



生物多様性の保全

ビオトープ設置

2019年秋に京都工芸繊維大学の学生たちと制作したプランタービオトープを、日東精工本社工場内の緑地に植え付けました。植えた植物は、周辺地域を調査し綾部の在来種で構成しています。今後大きく育ち、南北にある山々を野鳥が行き来する際に立ち寄る「飛び石ビオトープ」として、ねじと同様、綾部の生態系を「つなぐ」存在になれば願っています。



※例年実施している「モデルフォレスト活動(京都府と綾部市と協同した森林保全活動)」については、2020年は新型コロナウイルスの影響から中止いたしました。

E 製品によるCO₂削減への貢献

Environment

自社の重要課題の一つを「お客さまとの共有マテリアリティ」と位置づけ、B to Bビジネスによってお客さまのそばで直にニーズを汲み取り、日東精工の技術やノウハウから解決方法を提案します。お客さまのマテリアリティを共有し解決することで、多岐にわたる分野においてSDGsに貢献します。

持続可能な社会の実現のため環境負荷の低減が求められている中で、お客さまが製品を選ばれる際の環境に対する意識も高まっています。企業の責任という観点から、自社の生産工程で発生するCO₂の排出を削減すると同時に、お客さまが日東精工製品の使用によってCO₂が削減できるよう環境負荷の少ない製品の開発に注力しています。

販売実績に基づき、日東精工製品のCO₂削減への貢献度を算出しました。

日東精工のCO ₂ 排出量(2020年)	お客さまのCO ₂ 削減効果(2020年)
年間 7,003t-CO₂	年間 24,730t-CO₂

| タップタイト

めねじ加工が不要なねじ。タップタイトの導入によりめねじ加工にかかる消費電力を削減できます。

年間生産本数(2020年):17億7千2百万本
お客さまのめねじ加工時間削減により

年間 24,671t-CO₂ 削減



| AKROSE

冷間圧造技術によって素材を成形した後、その素材同士をプレス加工により強固に接合させる技術で、鉄・ステンレス・アルミニウム・銅など異なる材料同士の接合が可能です。電気自動車、ハイブリッド車の電池に使用され、ガソリン車に比べてCO₂排出を抑制できます。

年間生産本数(2020年):ハイブリッド車2千台分として換算
排気量2,000ccのガソリン車がハイブリッド車になると仮定すると

年間 36.5t-CO₂ 削減



| NXドライバ

高速・高精度の締付けが可能なトルクセンサー搭載のねじ締めドライバで、新方式(計測締め)は旧方式(制御締め)と比較し消費電力を抑えることができます。

旧方式と比較したCO₂削減率:60.39%
シリーズ年間生産台数(2020年):835台が新方式への切り替えと仮定すると

年間 12.1t-CO₂ 削減



| MISTOL

画像センサーによる小物部品の検査選別装置。画像検査によりいち早く不良品を見つけ、流出を防ぎます。

年間生産台数(2020年):7台
実際の導入事例をもとに、不良品が発生し再製作が必要になった場合に発生するCO₂の量から算出すると

年間 10.4t-CO₂ 削減



その他の環境対応製品

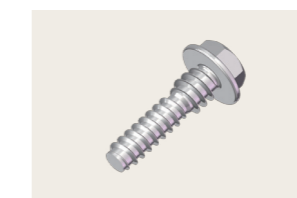
| FREELED

自然光に近い光色、かつ高輝度の光を発生させるLEDライト。医療現場における一般手術、診療での照明をキセノン照明に代えて使用することで消費電力を98%削減できます。



| カラーレスタイト

従来高温環境下でゆるみを防ぐために必要であった鉄カラーとインサートナットを廃止できる樹脂用セルフタッピンねじです。部品点数が減ること加工にかかる消費電力を削減できます。



| マイクロバブル洗浄装置

水中で発生させたマイクロバブル(直径1~60μm以下の微細な泡)を利用した洗浄装置で、多量の有機溶剤や酸・アルカリ溶剤を消費する従来の工業用洗浄に代わる安全で環境にやさしい洗浄を実現します。



S よりよい社会へ

Social

社会全体がSDGs達成のために取り組む中で、お客さまのマテリアリティを共有し解決することが日東精工グループとしてのSDGsへの貢献につながると考えています。また、コロナ禍で生活様式が一変した今日においては、新たな視点でモノづくりを見つめ直す必要があります。社会課題の解決を目指すとともに、お客さまがニューノーマルに対応した新しい働き方を実現できるような製品を提供していきます。

| お客さまの「働き方」を変える ～多様化する製造スタイルに応える～

自動組立機分野では、少子高齢化による労働力不足への対応のみならず、データを用いた高度なQCD管理を行うAIやIoTなど、ICT化への切り替えを目的とした需要が高まっています。このニーズに対応するため、2020年に単軸ねじ締めコントローラのIoT対応機種を発売しました。本製品は、上位機器へ送信するねじ締めデータの通信方式をさらに拡充することで、お客さまのICT環境を幅広く支援することが可能です。

今後、新型コロナウイルス感染防止対策やBCP対策という観点でも遠隔操作による無人化や、人と一緒に作業するロボット「協働ロボット」の活用など、お客さまの状況や考え方に応じて製造現場の将来像はさらに多様化すると考えられます。どのような製造スタイルでも日東精工のねじ締め機を選択していただけるように、お客さまの多様なモノづくりの将来像を共有し製品開発を進めています。ロボットメーカーとの

共同開発もその一つで、これまで独立していたロボットとねじ締め機を融合することで、今までにない機能性、操作性を持つ新しい感覚のねじ締めロボット開発を目指しています。

また、先進的なモノづくりへの対応には、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現に向けた課題解決も重要であると考えています。障がいを持った方の雇用などダイバーシティ経営を目指すお客さまへの支援、作業効率を高めて働き方改革を推進するお客さまへの支援、教育水準が低い新興国で雇用創出に取り組むお客さまへの支援など、持続可能な社会の実現のためにモノづくりの環境構築を目指すお客さまの要望に応えるため、経験とノウハウを活かしたソリューション活動を展開しています。



| 計測・検査で「信頼」を提供する ～安心を世界へ～

自動貫入試験機「ジオカルテ」シリーズは、スクリーウェイト貫入試験をコンピュータ制御によって初めて自動化した試験機です。住宅の地盤評価調査において、従来の手動式試験方法から大幅な作業効率向上を図り、快適で正確な貫入試験を実現しました。

2020年には最新機種「ジオカルテIV」を発売し、試験の際に埋め込むロッドの回転トルク増大、Bluetooth機能搭載、試験データ収集用スマートフォンアプリの開発など、さらに性能を向上させています。

海外での導入に向けた取り組みの一つであるタイについては、住宅用の調査ではなく、道路や堤防などの地盤液状化の可能性を調査する目的で使用されるため、より深い層の調査が求められます。2020年にはそれに対応したジオカ

ルテを開発し現地でテストを開始しています。新型コロナウイルス感染防止による活動制限で、非常に限られた期間での活動

ではありましたが、産学連携で実用化に向けてさらに前進させることができました。ジオカルテを使用すれば、現在手動で行っている地盤調査作業が大幅に短縮されるため、より正確で、より多くのデータを収集することができます。新興国にとって、産業の発展、雇用の創出につながるインフラ構築は重要ですが、それ以上に重要なのが安全対策です。SDGsにつながるレジリエント（強靱）なインフラ構築のために、多くの国々でジオカルテが活躍できる取り組みを進めていきます。



S 地方創生の考え方を世界へ発信する

Social



コネクターハブ企業とは？

企業が立地している地域からより多くの仕入れを行い、取引関係のハブとなっている企業のことです。日東精工は経済産業省からそのモデル企業として評価されています。

創業から一貫して綾部に本社を置く日東精工は、地域の取引関係の中核を担う「コネクターハブ企業」として、地域の産業振興に寄与してきた自負があります。また、書籍の発行や地元の学校への講演などを通じて人財育成の考え方を社外へも広げています。今後もこれまで以上に取引先や自治体と連携し、企業活動はもとより書籍や社外報、テレビなどのメディア露出を通じて地方の活性化に貢献したいと考えています。

| 地域経済牽引事業

経済産業省が主導する「地域経済牽引事業」に異種金属接合技術「AKROSE」および「AKROSE HYBRID」関連事業が承認されました。本事業は地域の特性を活かした経済活性化を目的とする取り組みです。京都府中丹地域（綾部市、福知山市、舞鶴市）における成長

戦略に基づく地域経済への貢献に期待できるとして京都府から本事業に承認されました。



| 日東精工関連書籍と綾部市図書館への寄贈

日東精工の理念を広く知っていただくため、また、綾部市のPR活動に貢献するため、これまでに3冊の書籍を発行しています。これらの書籍の印税を基に毎年綾部市図書館へ子ども向けの書籍を寄贈しています。



①2014年『人生の「ねじ」を巻く77の教え』 ②2017年『あやべ大好きBOOK』 ③2019年『絆経営で目指す新しい地方創生～心のねじをキュキュッと締めるビジネスのヒント～』

| 受験生応援ゆるみ止めねじプレゼントキャンペーン

一般の方にねじの大切さを知っていただきたいという想いから2014年から行っているキャンペーンです。毎年多くの方から届く喜びのコメントが当社の励み・活力にもつながっています。コロナ禍で今年特に大変な思いをした受験生の励みに少しでもなっていれば幸いです。



これまでのべ35,633人にプレゼント

| ペットボトルキャップ回収

数年前よりペットボトルキャップの収集を行っており、この度約100人分相当のポリオワクチンにあたる量を収集しました。収集したキャップは、認定NPO法人に寄付し、ユニセフとの連携の下、ポリオワクチンとして支援国へ届けられます。コロナ禍でモデルフォレストや清掃活動などの社会貢献活動実施が難しい中、今後も今できる活動を行ってまいります。



累計個数 / 84,710個
累計ワクチン数 / 98.5人分

| 消毒用アルコール塗布装置「ふんでクリーン」開発・寄贈

東陽精工が自社の金属加工技術を活かした消毒用アルコール塗布装置「ふんでクリーン」を開発し、1台を綾部市へ、10台を市内の小学校へ寄贈しました。



S 誰もがいきいきと働ける環境をつくる



ダイバーシティとインクルージョンとは?
「ダイバーシティ=多様性」「インクルージョン=包摂」を意味します。年齢、性別、人種、価値観などに係なく働けること、その多様性を個人の能力として最大限に発揮させることが重要だと考えています。

今後ますます課題となる国内事業の継続、労働者不足、働き方改革に対しては、人財育成の取り組みを充実させていくことが重要です。日東精工には独自の人財育成システムがあり、自律的に学び仕事に取り組む人財を育てています。また、ダイバーシティとインクルージョンの推進を企業戦略と捉え、誰もがいきいきと働ける職場をつくることこそが従業員のモチベーションアップ、多様なアイデアの創出につながると考えています。

健康経営

健康経営銘柄2021/健康経営優良法人2021(ホワイト500)に初選出

2021年3月、経済産業省および東京証券取引所より「健康経営銘柄2021」に初選定、経済産業省および日本健康会議より「健康経営優良法人2021(ホワイト500)」に初選定されました。日東精工では2020年に「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に認

定されて以降、さらなる健康経営の推進に力を入れてきました。新たに生活習慣病対策、メンタルヘルス、ワークライフバランスの3領域にKPIを設定し、7つの取り組み項目「Nicotto7」を推進中であり、職場での改善策実施に力を入れた結果、メンタルヘルス指標と労働時間が大きく改善しました。今後も従業員が健康



Nicotto7

生活習慣病低減を目的とした独自の全員参加の健康増進活動で、「運動・夕食・朝食・飲酒・禁煙・メンタルヘルス・睡眠」の7つのテーマにおいて生活習慣の改善、定着を図り、活力ある職場づくりを目指しています。

7つの生活習慣改善に一つでも多くチャレンジ!

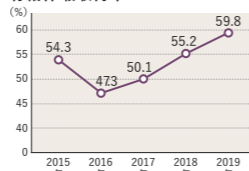
- 運動** 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上
- 夕食** 就寝前2時間以内に夕食をとることが週3回未満
- 朝食** 朝食を抜く頻度が週に3回未満
- 飲酒** 1日あたり飲酒量が2合までまたは週2日の休肝日
- 禁煙** 禁煙努力しているまたは喫煙習慣がない
- メンタルヘルス** ストレスに対するセルフケアをしている
- 睡眠** 十分な休養(6時間~8時間)が取れている

K P I

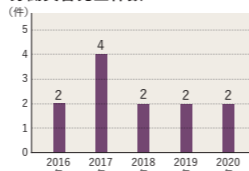
重点課題	K P I		中期目標 2022年度	実績 2019年度
	項目	数値		
生活習慣病対策	運動	1日30分以上、週2日以上、1年以上実施	17.0%	16.0%
	夕食	就寝前2時間以内に摂取が週3回未満	77.5%	77.3%
	朝食	朝食を抜く頻度が週3回未満	91.5%	91.5%
	飲酒	飲酒しないまたは1日2合未満	90.0%	88.9%
メンタルヘルス	禁煙	喫煙習慣がない	77.0%	76.7%
	ストレスチェック受検率		100.0%	87.3%
ワークライフバランス	睡眠	十分な休養がとれている	60.0%	57.8%
	長時間労働者 有休取得率	45時間×3ヶ月または80時間×1ヶ月	0人	0人

項目	2017年	2018年	2019年	2020年
ストレスチェック受検率	94.5%	96.1%	87.3%	96.4%
長時間労働者	3人	1人	0人	0人

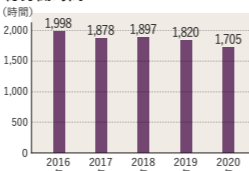
有給休暇取得率



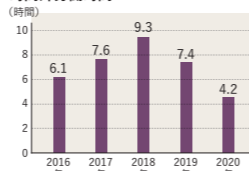
労働災害発生件数



総労働時間 一人当たり年平均



時間外労働時間 一人当たり月平均



スポーツエールカンパニー

2021年1月、スポーツ庁より従業員の健康増進に積極的に取り組む企業に対して与えられる「スポーツエールカンパニー2021」に



認定されました。社内の部活動を活発に行っていることや、体力づくり強化月間を制定し体力年齢チェックを実施したことなどが評価されました。

ダイバーシティとインクルージョン

女性活躍推進

くるみん認定

2020年に厚生労働大臣の「くるみん認定」を初めて取得しました。2019年よりグループ各社の男性の対象者向けにリーフレットを作成し、休業給付金や男性の取得による育児休業の延長制度など、国の子育て援助制度の周知を図っています。その結果、男性の育休取得率が向上しました。(2018年は0%/2019年、2020年は20%)



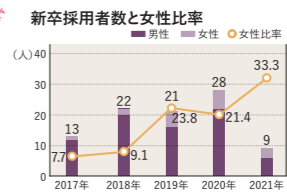
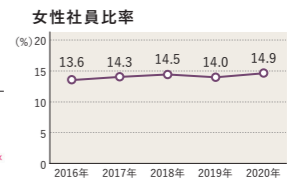
えるぼし三つ星

女性の活躍推進に関して取り組みの実施状況が優良な事業主に厚生労働大臣から与えられる「えるぼし認定企業」の最高位である「三つ星」認定を受けています。一人ひとりが尊重されチャレンジできる風土の醸成に今後ますます取り組んでいきます。



「えるぼし認定」評価項目

①採用	女性	男性	男女で同程度です(直近3事業年度)
正社員採用における倍率	3.2倍	2.6倍	
②継続就業	女性	男性	男女で大きな差はありません(直近事業年度)
正社員の平均勤続年数	17.4年	20.3年	
③労働時間等の働き方	正社員	月45時間を下回っています(直近事業年度)	
月あたりの時間外・休日労働時間平均	7.4時間		
④管理職比率	女性	産業平均を上回っています(直近事業年度)	
管理職(課長級以上)に占める女性の割合	3.5%		
⑤多様なキャリアコース	通常の労働者への転換、派遣労働者の雇入れが2人 おむね30歳以上の女性正社員中途採用が2人		



日東精工SWIMMYが「京都市はあとふる企業」に認証



2020年に特例子会社である日東精工SWIMMYが「京都市障害者雇用推進事業(京都市はあとふる企業)」に認証されました。本認証は障がい者雇用の理解と促進を図ることを目的として、障がいのある方を積極的に雇用している企業に授与されます。今後も障がいのある方の就業機会の拡大や働く環境の改善に貢献し、一人ひとりの特性に合った働き方を実現できるよう取り組んでいきます。

ジョブリターン制度

従業員の多様なライフプランやニーズに対応し働き方の選択肢を広げるため、ジョブリターン制度を導入しています。結婚や出産、育児、介護、配偶者の転勤などのライフイベントやキャリアアップのために退職した従業員が離職後も復帰できる制度です。

独自の人財育成制度

オリジナルテキスト

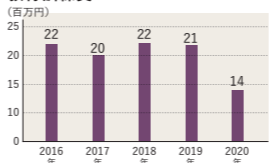
長年培ってきた独自の人財育成の取り組みをオリジナルの社内テキストとしてまとめており、誰もがそれをもとに従業員としてのあり方を学んでいます。2014年には一般の方向けにこれらをまとめた書籍「人生の「ねじ」を巻く77の教え」も発刊しました。(P23参照)



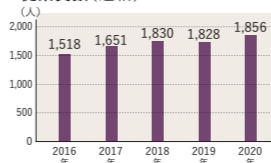
自己啓発と目標管理

能力開発推進を目的とした教育単位制度を設け、研修会・セミナー、通信教育、QC活動、資格の取得などにより年間20単位取得することを義務付けています。また、半期ごとに個人の目標を設定するチャレンジシート制度を導入しています。評価は単純に「達成度が高い=良い」というわけではなく、設定した目標の難易度も考慮されます。チャレンジする従業員を応援する企業風土が反映された制度です。

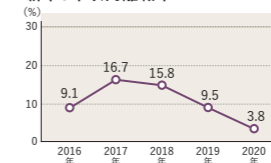
教育訓練費



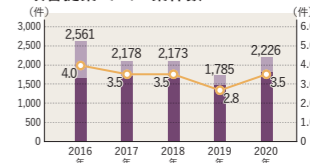
従業員数(連結)



新卒3年以内離職率



改善提案・チョコ案件数



次世代育成支援第4次行動計画

計画期間	内容
2020年1月1日から 2022年12月31日まで の3年間	目標① 男性の育児休業の取得割合13%以上にするための促進の措置 ● 2020年2月/配偶者が出産した男性労働者への制度の周知 [実施済み]制度案内リーフレットを該当上司と本人に送付 ● 2021年4月/固定的な性別役割分担の意識改革につなげる管理監督者研修の実施 [実施予定]
	目標② 女性従業員のキャリア継続支援に関する取り組みの実施 ● 2020年4月/育児休業中社員の能力開発の実施 [実施済み]eラーニング受講の取り組み
	目標③ 多様な働き方に関わる制度の導入 ● 2020年4月/キャリアコンサルティングの導入 [実施済み]キャリア面談実施、外部研修参加 ● 2022年4月/テレワークの導入 [実施済み]在宅勤務制度の導入

※本ページの数値はすべて単体のものです。

G 役員一覧 (2021年3月30日現在)

Governance



材木 正己

代表取締役社長

2013年4月から代表取締役社長を務め、強いリーダーシップと決断力をもって長期ビジョン、中期経営計画の達成に向け、日東精工グループの経営を牽引しています。また、高い危機管理能力を有しており、経営環境の変化に迅速に対応しています。

重要な兼職の状況

- NITTO SEIKO (THAILAND) CO., LTD. 取締役会長
- 旭和螺絲工業股份有限公司 副董事長
- 九州日東精工株式会社 取締役
- PT. NITTO ALAM INDONESIA コミサリス
- PT. INDONESIA NITTO SEIKO TRADING コミサリス
- 京都経営者協会 副会長
- 京都工業会 常任理事
- 京都工芸繊維大学 経営委員
- 舞鶴高専地域テクノアカデミア 副会長
- 京都労働基準協会 福知山支部長



荒賀 誠

代表取締役常務 兼 常務執行役員
経営管理部門 (経営企画室・グローバル戦略部・人事総務部・グループ経営推進部) 担当

2020年4月から常務取締役として経営全般の管理・監督機能を担っています。また、経営管理部門担当として、長期ビジョン、中期経営計画の達成に向けた中核的役割を担う一方、創業理念に基づく地方創生や健康経営の推進など、多岐にわたり企業価値の向上に貢献しています。

重要な兼職の状況

- 日東公進株式会社 取締役
- 和光株式会社 取締役
- 東洋圧造株式会社 取締役
- 株式会社ニッセイ 取締役
- 株式会社ファイブ 取締役
- 松浦屋株式会社 取締役
- 日東精工SWIMMY株式会社 取締役
- 日東精密螺絲工業(浙江)有限公司 董事
- 旭和螺絲工業股份有限公司 董事
- MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD. 取締役
- 九州日東精工株式会社 監査役
- 一般社団法人綾部工業研修所 理事長



澤井 健

常務取締役 兼 常務執行役員
産機事業部事業部長

2019年4月から常務取締役として経営全般の管理・監督機能を担っています。また、産機事業部の事業部長として、取引先からの信頼を前提とした情報収集力を活かし、国内外における事業領域の拡大に貢献しています。また、信頼ある発言と発信力をもって、事業構造改革を推進しています。

重要な兼職の状況

- 日東公進株式会社 代表取締役社長
- 旭和螺絲工業股份有限公司 董事
- THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD. 取締役
- NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION 執行役員



上嶋 伸宏

取締役 兼 執行役員
メディカル新規事業部事業部長 兼 研究開発部門担当 兼 研究開発部長

支店管理部門担当として管理部門の労働生産性の向上に貢献する一方、高い危機管理能力をもって、経営環境の変化に迅速に対応した支店運営にリーダーシップを発揮しました。また、海外グループ会社の経営者として経営全般の管理・監督機能を担った経験があります。

重要な兼職の状況

- 日東精工アナリテック株式会社 取締役



山添 重博

取締役 兼 執行役員
制御システム事業部事業部長 兼 生産技術部門担当

制御システム事業部門での豊富な経験と幅広い知見を活かし、新製品開発などによる需要の拡大や海外事業展開に積極的に取り組んでいます。また、生産技術部門担当として地域環境や地球環境の向上に向け、環境管理活動にリーダーシップを発揮しています。

重要な兼職の状況

- 日東工具販売株式会社 取締役
- 東陽精工株式会社 取締役
- 株式会社伸和精工 取締役
- 日東精工アナリテック株式会社 取締役



松本 真一

取締役 兼 執行役員
財務部門担当 兼 監査部門担当 兼 監査部長

経理・財務に関する幅広い知見を活かし、グループの経営に財務面で貢献する一方、監査部門担当として外部への情報開示・内部統制の両面で、ガバナンスの強化に役割を果たしています。また、海外グループ会社管理部門の経験を活かし、海外グループ会社のガバナンス強化などにも寄与しています。

重要な兼職の状況

- 株式会社協栄製作所 監査役
- 株式会社伸和精工 監査役
- 日東精工アナリテック株式会社 監査役
- 日東精密螺絲工業(浙江)有限公司 監察人
- 旭和螺絲工業股份有限公司 監察人
- NITTO SEIKO AMERICA CORPORATION 執行役員
- 株式会社エフエムあやべ 取締役
- 株式会社水夢 取締役



塩見 満

弁護士

社外取締役
【独立】

弁護士としての高度な専門的知見を有しており、企業法務などに関し適確な助言をいただいています。また、独立した立場から経営および業務執行に対する監督機能を果たしていただいています。

重要な兼職の状況

- 塩見法律事務所 弁護士
- 株式会社さとう 非常勤監査役
- 社会福祉法人空心福祉会 理事



平尾 一之

社外取締役
【独立】

多くの団体の筆頭者としての経験と大学教授としての豊富な知見を有しており、技術開発やイノベーションなどに関し適確な助言をいただいています。また、独立した立場から経営および業務執行に対する監督機能を果たしていただいています。

重要な兼職の状況

- 京都グリーンケミカル・ネットワーク 会長
- 京都大学 名誉教授・特任教授
- 京都市成長産業創造センター センター長
- 京都市桂イノベーションセンター センター長



勝見 九重

特定社会保険労務士
産業カウンセラー
キャリアコンサルタント

社外取締役
【独立】

企業の経営戦略としてのメンタルヘルスやワークライフバランスを取り入れた人材コンサルティングを展開されており、日東精工が目指す人材活性化の実現に向け適確な助言をいただいています。また、独立した立場から経営および業務執行に対する監督機能を果たしていただいています。

重要な兼職の状況

- 勝見社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士
- 株式会社スリー・バイ・スリー 代表取締役



北谷 明

常勤監査役

高い倫理観をもって、グループのガバナンス強化に貢献しています。また、財務および会計に関する相当程度の知見を有しており、監査、監督業務を適確に遂行しています。

重要な兼職の状況

- 日東公進株式会社 監査役



溝口 克彦

社外監査役【独立】

グンゼ株式会社の執行役員、グンゼ開発株式会社の代表取締役社長を歴任され、グンゼ株式会社の監査役を務められています。その豊富な経験と幅広い知見を監査業務の健全性・透明性の向上に活かしていただいています。

重要な兼職の状況

- グンゼ株式会社 監査役



多賀野 博一

社外監査役【独立】

金融機関における長年の経験から企業金融に関する高度な知見を有しており、独立した立場から監査業務の健全性・透明性の向上に活かしていただいています。

重要な兼職の状況

- 京都クレジットサービス株式会社 代表取締役社長
- 京銀カードサービス株式会社 代表取締役社長

浅井 基樹 執行役員

ファスナー事業部
事業部長

石原 雅和 執行役員

支店管理部門担当 兼 東京支店長

重要な兼職の状況

- 日東精工アナリテック株式会社 取締役

小雲 康弘 執行役員

グローバル戦略部長
兼 産機事業部 海外販売部長

桐村 和也 執行役員

産機事業部 副事業部長
兼 製造部長

連結財務諸表

連結貸借対照表

		(単位:百万円)				(単位:百万円)	
		前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)			前連結会計年度 (2019年12月31日)	当連結会計年度 (2020年12月31日)
資産の部				負債の部			
流動資産				流動負債			
現金及び預金	10,103	9,287	支払手形及び買掛金	4,290	4,054		
受取手形及び売掛金	8,574	8,027	電子記録債務	2,821	2,619		
電子記録債権	2,745	2,515	短期借入金	2,574	2,847		
商品及び製品	2,725	2,503	未払金	316	237		
仕掛品	1,926	2,181	未払法人税等	414	407		
原材料及び貯蔵品	1,757	2,231	賞与引当金	178	182		
未収入金	738	724	その他	1,478	1,269		
その他	160	239	流動負債合計	12,074	11,618		
貸倒引当金	△6	△5	固定負債				
流動資産合計	28,726	27,704	長期借入金	884	897		
固定資産			役員退職引当金	60	83		
有形固定資産			役員株式給付引当金	35	40		
建物及び構築物(純額)	3,325	3,618	繰延税金負債	318	437		
機械装置及び運搬具(純額)	2,483	2,334	退職給付に係る負債	2,521	2,681		
土地	5,421	5,285	その他	493	604		
建物仮勘定	1,150	1,208	固定負債合計	4,313	4,745		
その他(純額)	418	486	負債合計	16,388	16,364		
有形固定資産合計	12,799	12,933	純資産の部				
無形固定資産			株主資本				
ソフトウェア	95	406	資本金	3,522	3,522		
のれん	93	647	資本剰余金	2,636	2,637		
顧客関連資産	36	80	利益剰余金	22,171	22,565		
技術関連資産	—	271	自己株式	△1,288	△1,279		
その他	8	15	株主資本合計	27,042	27,445		
無形固定資産合計	234	1,421	その他の包括利益累計額				
投資その他の資産			その他有価証券評価差額金	143	86		
投資有価証券	2,131	1,820	為替換算調整勘定	△479	△597		
繰延税金資産	678	828	退職給付に係る調整累計額	△77	△65		
退職給付に係る資産	858	884	その他の包括利益累計額合計	△413	△577		
長期預金	80	80	非支配株主持分	2,971	2,989		
その他	482	551	純資産合計	29,600	29,858		
貸倒引当金	△1	△1	負債純資産合計	45,989	46,222		
投資その他の資産合計	4,229	4,162					
固定資産合計	17,263	18,517					
資産合計	45,989	46,222					

連結損益計算書

		(単位:百万円)	
		前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
売上高	34,857	32,904	
売上原価	26,379	25,263	
売上総利益	8,477	7,640	
販売費及び一般管理費	5,880	6,337	
営業利益	2,596	1,303	
営業外収益			
受取利息	44	35	
受取配当金	17	16	
受取賃貸料	87	93	
保険解約返戻金	—	61	
スクラップ売却収入	32	15	
持分法による投資利益	29	11	
その他	193	146	
営業外収益合計	404	381	
営業外費用			
支払利息	14	23	
賃貸収入原価	62	89	
為替差損	23	80	
その他	46	73	
営業外費用合計	147	266	
経常利益	2,853	1,418	
特別利益			
固定資産売却益	134	1	
投資有価証券売却益	49	45	
段階取得に係る差益	20	—	
特別利益合計	204	47	
特別損失			
固定資産処分損	15	8	
投資有価証券売却損	—	0	
事業構造改善費用	71	—	
減損損失	—	97	
特別損失合計	87	105	
税金等調整前当期純利益	2,971	1,359	
法人税、住民税及び事業税	904	473	
法人税等調整額	△29	△16	
法人税等合計	875	457	
当期純利益	2,095	902	
非支配株主に帰属する当期純利益	158	137	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,937	764	

連結包括利益計算書

		(単位:百万円)	
		前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
当期純利益	2,095	902	
その他の包括利益			
その他有価証券評価差額金	△3	△63	
為替換算調整勘定	30	△150	
退職給付に係る調整額	172	12	
持分法適用会社に対する持分相当額	1	4	
その他の包括利益合計	201	△197	
包括利益	2,297	704	
(内訳)			
親会社株主に係る包括利益	2,137	601	
非支配株主に係る包括利益	159	103	

連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:百万円)	
		前連結会計年度 (自 2019年1月1日 至 2019年12月31日)	当連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	2,971	1,359	
減価償却費	1,036	1,176	
減損損失	—	97	
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△64	
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	△42	
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△115	△3	
受取利息及び受取配当金	△62	△52	
支払利息	14	23	
持分法による投資損益(△は益)	△29	△11	
事業構造改善費用	71	—	
投資有価証券売却損益(△は益)	△49	△45	
固定資産処分損益(△は益)	15	8	
固定資産売却損益(△は益)	△134	△1	
段階取得に係る差損益(△は益)	△20	—	
売上債権の増減額(△は増加)	402	1,466	
たな卸資産の増減額(△は増加)	27	506	
仕入債務の増減額(△は減少)	111	△637	
未払消費税等の増減額(△は減少)	62	△31	
未払費用の増減額(△は減少)	△19	△3	
その他	△659	96	
小計	3,677	3,841	
利息及び配当金の受取額	65	53	
利息の支払額	△14	△23	
事業構造改善費用の支払額	△71	—	
法人税等の支払額	△1,022	△502	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,633	3,368	
投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期預金の預入による支出	△448	△463	
定期預金の払戻による収入	2,416	547	
有形固定資産の取得による支出	△1,755	△1,457	
有形固定資産の売却による収入	140	24	
有形固定資産の除却による支出	△15	△8	
投資有価証券の取得による支出	△114	△4	
投資有価証券の売却による収入	108	110	
投資有価証券の償還による収入	200	190	
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,986	
貸付けによる支出	△1	△1	
貸付金の回収による収入	2	4	
その他	△56	△119	
投資活動によるキャッシュ・フロー	476	△3,164	
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△は減少)	82	△405	
長期借入れによる収入	430	395	
長期借入金の返済による支出	△261	△386	
自己株式の売却による収入	3	14	
自己株式の取得による支出	△261	△0	
配当金の支払額	△469	△371	
非支配株主への配当金の支払額	△161	△87	
その他	△27	△31	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△665	△871	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	△45	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,426	△712	
現金及び現金同等物の期首残高	6,055	9,012	
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	530	—	
現金及び現金同等物の期末残高	9,012	8,299	

5年間の主要財務データ

会計年度

(百万円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
売上高	26,299	30,074	33,777	34,857	32,904
営業利益	2,598	2,658	2,955	2,596	1,303
経常利益	2,616	2,809	3,196	2,853	1,418
親会社株主に帰属する当期純利益	1,547	1,604	2,029	1,937	764
設備投資額	703	1,176	1,837	2,002	1,313
減価償却費	779	934	966	1,036	1,176
研究開発費	409	502	469	495	630
営業活動によるキャッシュフロー	2,582	1,995	3,128	2,633	3,368
投資活動によるキャッシュフロー	848	△1,808	△1,527	476	△3,164
フリーキャッシュフロー	3,431	186	1,601	3,110	204
財務活動によるキャッシュフロー	△1,244	△1,697	△1,093	△665	△871
現金及び現金同等物の期末残高	7,235	5,857	6,055	9,012	8,299

会計年度末

(百万円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
総資産	38,927	40,877	43,353	45,989	46,222
流動資産	25,250	24,018	27,177	28,726	27,704
固定資産	13,677	16,858	16,176	17,263	18,517
流動負債	10,609	10,847	11,963	12,074	11,618
固定負債	3,121	3,221	3,716	4,313	4,745
有利子負債	3,404	3,048	3,147	3,812	4,113
純資産	25,196	26,808	27,674	29,600	29,858

1株当たり情報

(円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
1株当たり当期純利益	40.6	42.4	54.1	52.0	20.7
1株当たり純資産	596.7	649.3	678.1	723.6	729.7
1株当たり年間配当	9.0	9.0	12.0	12.0	8.5
配当性向(%)	22.2	21.2	22.2	23.0	40.9

財務指標

(%)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
売上高営業利益率	9.9	8.8	8.7	7.5	4.0
自己資本当期純利益率(ROE)	7.0	6.8	8.2	7.5	2.9
自己資本比率	57.9	59.5	58.2	57.9	58.1

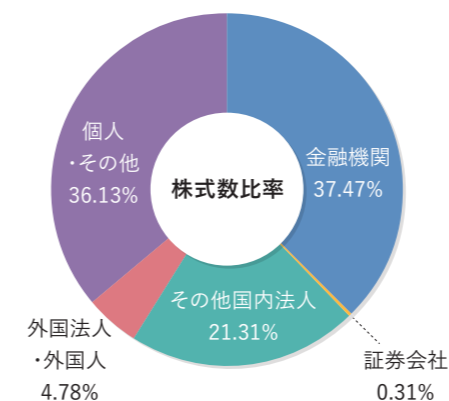
株式情報 (2020年12月31日現在)

株式基本情報

上場取引所	東京証券取引所 第一部
証券コード	5957
発行可能株式総数	98,800,000株
発行株式の総数	39,985,017株
単元株式数	100株
株主数	4,019名
事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社

所有者別持株分布状況

(他発行物と合わせる)



株主・投資家との対話実績

	2018年	2019年	2020年
機関投資家向け決算説明会	2	2	2
個人投資家向け説明会	4	3	0
株主総会	1	1	1
従業員向け株主説明会	0	1	1

※2020年は新型コロナウイルス感染防止対策として個人投資家向け説明会は開催を見送りました。

大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,554千株	9.55%
日東精工協友会	3,103千株	8.34%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,277千株	6.12%
株式会社京都銀行	1,855千株	4.99%
グンゼ株式会社	1,784千株	4.80%
神鋼商事株式会社	1,499千株	4.03%
三井住友信託銀行株式会社	1,350千株	3.63%
株式会社三菱UFJ銀行	1,347千株	3.62%
日東精工従業員持株会	784千株	2.11%
日本生命保険相互会社	619千株	1.66%

※持株数の千株未満は切り捨てております。
※自己株式2,802千株を除いて計算しております。

過去10年の株価推移 (2011年1月～2021年3月)

